

令和3年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 小規模多機能ホーム よいやんせ

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	14人	2人	人	16人

前回の改善計画
集めた情報をケース記録に残し、全スタッフ間で共有し、日々のケアやコミュニケーションに活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果
情報共有は全スタッフが意識して行っていた。職員間での意思統一が出来ていないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	10	2		16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	11	2		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	12	1		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		13	3		16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前に情報提供票や生活歴等の情報が周知されている。
利用開始時の慣れていない時期は不安や不穏状態にならないように気をつけ、声掛けを行う事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の要望、意見よりは介護する家族側の要望の方を優先することが多く、本人のニーズに沿えないこともあった。
情報共有はされていたが、職員間で意思統一がなされていない事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用開始前や利用開始直後の情報は出来るだけ具体的にケース記録に残す。
全体ミーティングの際に再度、職員間の意思統一を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	8人	2人	16人

前回の改善計画	形式にとらわれず、日常生活の中での「～したい」に気づき、実行していく。 コロナ禍のなかでも出来ることに目を向けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染対策を行った上でできる範囲の活動や関わりは出来た。 関わったことに対しての振り返りが出来ていない事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	9	5.	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	5.	1	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6.	9	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	8	5.	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケース記録に本人の目標を記載しているので当面の目標は確認できている。 施設内で出来る範囲の目標、関わりはある程度できていた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍を理由にしまい出来る事やしたい事を上手く引き出すことが出来なかった。 関わったこと、目標に対しての振り返りが出来ていなかった。 振り返りをする機会を設けていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 実践した事は全職員で情報を共有し、全体ミーティング時に報告・今後の課題・反省を行っていく。 コロナ禍を理由にせずに現状出来ることに目を向け実践していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

3. 日常生活の支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	3人	人	15人

前回の改善計画	ケアの基本「利用者本位」を念頭に、状態をきちんと把握したうえで今ベストな方法を協議・検討し支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々のミーティング等が出た意見を協議・検討し、利用者本人に合わせたケア・支援に繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2	12	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5.	10			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8	6.	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6.	9			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	8	4		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の状態をよく観察し、異常があった場合はその時の状態、状況を職員間で共有して、その都度本人に合わせたケアを行う事が出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方を10個以上は把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者様の状態・状況の変化時は、職員間で情報共有し、現状ベストなケアを検討して実践していく。 各担当が各利用者様の病歴や生活歴等の研修を行い、再度情報を共有して、普段のケアに役立てていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令4年6月8日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	6人	2人	16人

前回の改善計画	利用者が自宅で過ごす時間を増やせるようにし、全スタッフが訪問時対応できるようにする。支援するだけでなく、少しでも日中の過ごし方など情報を得られるようにコミュニケーションを図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	自宅で過ごす時間を増やせていない。自宅で過ごす時間を増やす為どのように支援していくのかを検討出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		10	6		16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	10	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	10	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	9	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問サービスを提供することで、自宅で安全、安心して暮らせるように支援できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 民生委員や地域資源等を把握できていない。 自宅でどのように過ごしているのかよくわからない。ご家族とのコミュニケーション不足
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 送迎・訪問を全職員出来るようにしていく。送迎時などご家族とコミュニケーションがとれるように努力する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	10人	人	16人

前回の改善計画	住み慣れた自宅での生活を少しでも長く継続できるよう、訪問支援のスキルアップを図る。 具体的には、訪問時の観察点、個々人の訪問支援内容の整理、自宅で本人のできることの把握、緊急時の対応策など研修を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問支援のスキルアップ研修や緊急時の対応策の研修が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		5	9	2	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	8	3		16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	13	2		16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	6	3		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の状態に合わせた支援（訪問・通い・宿泊）を行う事が出来た。 新たに必要な支援に対しても即時に対応できていた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 緊急時の対応などに不安がある。 訪問支援のスキルアップが出来ていない。 訪問支援に行く事があまりないため。情報収集不足。勉強不足。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 訪問支援に全職員行けるようにする。訪問支援のスキルアップや緊急時の対応策などの研修を行い、不安なく支援出来るようにしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

6. 連携・協働

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	10人	3人	人	16人

前回の改善計画
引き続き会議には役員が参加しているので知り得た情報を全体ミーティング、申し送りノート等で全スタッフに共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
役員が知り得た情報は全体ミーティングや申し送りを通じて全スタッフに伝えることが出来た。地域、事業所の行事・活動は感染対策を行った上で実施・参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	6	7	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	14	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			1	15	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	3	9	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議には役員が参加し、知り得た情報は全体ミーティングや申し送りノート等で共有、収集することが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍のため、ほとんどの会議がネット会議になっている。役員は参加しているが個人では参加していない。地域の活動やイベント等も現在は参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
コロナ感染対策を意識したうえで地域活動に参加する。
役員が参加したネット会議の内容は全体ミーティング時に情報を共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

7. 運営

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	4人	人	15人

前回の改善計画
意見を言える環境作り。
ご家族・利用者様からの苦情・意見は全体ミーティング等で改善策を検討して、その後のケア、運営に活かしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
全体ミーティングにて改善策を話し合いその後のケア・支援に活かすことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	7.	6.	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4		16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6.	7.	2	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	7.	4	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見、苦情等があった場合は役員に報告している。その後全体ミーティングで検討・情報共有を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍の為なかなか地域の方々と接する機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
意見交換の場を作る。意見を言いやすい環境作り。
今後の社会情勢を見てから、地域の方との交流の場を増やしていく。(コロナ終息後などに)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之口・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	9人	16人

前回の改善計画	全スタッフがリモート会議をできるように環境整備を行い質の向上を目指す。BCPの作成を行い、事故を防ぐための予測・準備が迅速に出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ感染対策を行った上で事業所内研修を行うことが出来た。BCPの作成は少しずつではあるが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	10	3		16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	7	8	16
③	地域連絡会に参加していますか			2	14	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	6	3	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 月1回の職場内研修は参加出来ている。 安心・安全を心掛けたケアを行った。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職場外の外部研修等には参加できていない。外部研修の情報を積極的に見ていなかった。コロナの流行の為。 家庭の事情。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナ禍が続いている為、状況に応じてリモート会議をできるように環境整備を行う。 事故報告書を元にリスクマネジメントの研修を行い、事故を未然に防ぐための予測・準備が迅速に出来るようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月8日

9. 人権・プライバシー

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口・軸屋・大木・松木・柳田・上村・山之内・上西誠・橋口・東郷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	13人	2人	人	16人

前回の改善計画	身体拘束の研修時に再度スピーチロックについて検討し、日頃の言葉遣いを、気を付けるように意識付けをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束の研修を通じて全スタッフが意識して取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	3	1		16
②	虐待は行われていない	14	2			16
③	プライバシーが守られている	4	7	5		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	5	3	6	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	10	1		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束については年2回の研修を行い、施設内で身体拘束が起きないように取組んでいる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様の状態や排泄の状況等を他利用者様が聞こえる所でスタッフ同士話すことがあり、プライバシーが守られていないと思う場面がある。 プライバシーの意識が薄れている。業務を優先しがち。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) プライバシーの保護を徹底して行う。身体拘束の廃止やプライバシーの保護を念頭に置いて日々のケアを行う。成年後見制度については再度研修を行う。
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	5		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・コロナ禍でなかなか色々な制限がある中で、何かできることを探している様子が見えましました。

【前回の改善計画】

- ・全スタッフがケアプラン(利用者の目標)を意識して統一したケアができるように取り組んでいく。

前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・記録用紙の上段に目標を記入することによって、目標を意識して利用者に関わることができた。
- ・具体的な内容も記載されており、ケアに生かされている様子も見えました。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・今できる限りの具体的な計画だと思います。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・ご家族も熱心にご連絡くださるところと、預けっ放しに近いところがあり、距離感も難しく私自身、感じます。

【改善計画】※後日記入

- ・ケアプランを意識したケアができるように全体ミーティング時にプランについての意見交換を行う。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			6
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			6
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			6
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			6
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・コロナ禍にて訪問をひかえている為、判断ができませんが、書面からは季節感を感じています。

【前回の改善計画】

・屋外の環境を定期的に学童、発達支援センターのこどもたちに活用して頂くことで、常に環境を整える意識づけを行う。

前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

・コロナ禍で子供たちが立ち寄ることがなかった。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・書面での開催なのでわかりません。

【今回の改善計画】※後日記入

・屋外の環境を定期的に学童、発達支援センターのこどもたちに活用して頂くことで、常に環境を整える意識づけを行う。

・地域交流スペースの改修工事や事業所内のフローリングの張替えを行い、きれいな環境で過ごして頂く。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			6
1	職員はあいさつできていますか？			6
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			6
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			6
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事業所に出向けないので評価できない。 ・地域のサロンや老人クラブなどとの繋がりを大切にしているなど感じました。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの接遇を再度ふり返り、接遇への意識が高まるような研修を開催する。 <p>※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに接遇の研修を開催しました。
<p>【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても相談しやすい。立ち寄りやすいと思います。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の外環境を地域の方々に開放したり、地域の行事に積極的に協力をしながら地域の方々との信頼関係を気付いていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2		4
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2		4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			6
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		4

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事業所に出向けないので評価ができない項目がある。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしつつ、利用者と地域の方々がふれあえる活動を実行する。 <p>※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の行きつけの美容室や墓参りに同行する支援を実地した。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしつつ、利用者と地域の方々がふれあえる活動を実行する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・よいやんせ便りを見ると、活動内容がよくわかります。

【前回の改善計画】

- ・令和4年の4月からはゲル(地域交流スペース)で開催し、委員の方々より意見を頂き事業運営や地域の困りごとについて討議する。

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・今年度は2回事業所で開催し、4回は書面での開催になりました。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・書面での報告では表面上の取り組みしかわからない。

【改善計画】※後日記入

- ・なるべく事業所内で開催ができるように感染対策を行い。委員の方々の意見を事業運営に生かしていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			6
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・書面での報告では防災・災害対策についてはわからない項目が多い。

前回の改善計画】

10月の運営推進会議で避難訓練を実地する。(防災計画の提示)

- ※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
書面での開催になりできなかった。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・発電機を設置したことを地域の方々にも周知をし、停電時には還元して頂きたい。

【改善計画】※後日記入

- ・よいやんせ便り、ホームページで発電機を設置したことを地域の方々へ周知する。
- ・BCP計画についての訓練をスタッフ間で行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ネバーランド	代表者	小川 卓也	法人・ 事業所 の特徴	①暮らしに必要な「農」の空間が広がり、無農薬の野菜や米、卵を自給自足しており、安心安全でおいしい食の提供を目指している。 ②その人らしい暮らし方を家族、主治医、地域の方等と共に支え、最後までその地域で暮らせる支援を目指す。 ③地域の店舗への出荷、老人クラブや子ども会との交流、地域のひろば事業などの展開で地域に開かれ、地域の方に親しみやすい事業所を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム よいやんせ	管理者	小川 卓也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	2人	人	1人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフがケアプラン(利用者の目標)を意識して統一したケアができるように取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録用紙の上段に目標を記入することによって、目標を意識して利用者に関わることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な内容も記載されており、ケアに生かされている様子も見えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランを意識したケアができるように全体ミーティング時にプランについての意見交換を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の環境を定期的に学童、発達支援センターのこどもたちに活用して頂くことで、常に環境を整える意識づけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で子供たちが立ち寄ることがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にて訪問をひかえている為、判断が出ませんが、書面からは季節感を感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の環境を定期的に学童、発達支援センターのこどもたちに活用して頂くことで、常に環境を整える意識づけを行う。 地域交流スペースの改修工事や事業所内のフローリングの張替えを行い、きれいな環境で過ごして頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの接遇を再度ふり返り、接遇への意識が高まるような研修を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに接遇の研修を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で事業所に出向けないので評価できない。 地域のサロンや老人クラブなどの繋がりを大切にしているなと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の外環境を地域の方々に開放したり、地域の行事に積極的に協力をしながら地域の方々との信頼関係を気付いていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしつつ、利用者と地域の方々がふれあえる活動を実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の行きつけの美容室や墓参りに同行する支援を実地した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事業所に出向けないので評価ができない項目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしつつ、利用者と地域の方々がふれあえる活動を実行する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年の4月からはゲル(地域交流スペース)で開催し、委員の方々より意見を頂き事業運営や地域の困りごとについて討議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は2回事業所で開催し、4回は書面での開催になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よいやんせ便りを見ると、活動内容がよくわかります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく事業所内で開催ができるように感染対策を行い。委員の方々の意見を事業運営に生かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の運営推進会議で避難訓練を実地する。(防災計画の提示) 	<ul style="list-style-type: none"> 書面での開催になりできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電機を設置したことを地域の方々にも周知をし、停電時には還元して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よいやんせ便り、ホームページで発電機を設置したことを地域の方々へ周知する。 ・BCP計画についての訓練をスタッフ間で行う。

今年度もコロナ禍で委員の方々に集まっての意見交換をすることができなかった。
電話での聞き取りを行ったが、事業所に足を運ぶ機会が少なくなったので「わからない」という
意見が多かった。前回と同じ意見が多い評価となりました。

来年度の運営推進会議は事業所内で開催予定なので委員の方々より事業所の雰囲気を感じて
頂き、活発な意見を事業運営に生かしていきたいと思います。